



2023年度企画展

# 歪み動く大地

郷土が寄りそってきた変動の痕跡を辿る

観覧  
無料

大地に働く僅かな歪みは長い時間を経て飛騨山脈や呉羽丘陵など、県民には馴染み深い郷土の地形を築き上げ、独特な風土とともに地震や土砂災害などの災いをもたらしてきました。

変動する大地に翻弄されながらも、先人達はその地形と営みによる恵みと教訓を活かし、独特の地域社会と郷土の景観を築き上げてきました。

本企画展はそうした馴染み深い郷土の景観や暮らしの中に見え隠れする、歪み動く大地の営みを紹介し、変動する大地での生き方を温故知新とし、これからの共存のあり方を考えます。

会期  
令和5年 7月22日[土] - 9月24日[日]

会場  
富山県 立山カルデラ砂防博物館 エントランスホール、企画展示室

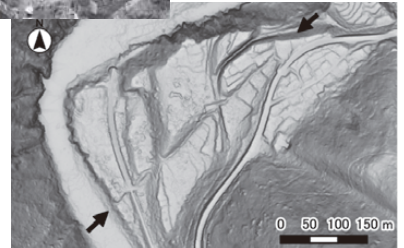
後援 国立大学法人富山大学都市デザイン学部 一般社団法人立山黒部ジオパーク協会

観覧無料

山と川と人のミュージアム 富山県 立山カルデラ砂防博物館

富山県中新川郡立山町芦峰寺字ブナ坂68 TEL. 076-481-1160 FAX. 076-482-9100  
<https://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>

写真上より 飛騨山脈空撮\*、黒部川花崗岩猫又谷出合露頭、呉羽山丘陵空撮\*、越前川断層真川露頭 \*写真提供: 富山国際大学教授 助重 雄久氏



## 一 関連行事一

【講演会】8月20日(日) 13:00~(開場12:30)

定員100名 申込み不要(先着順)

「飛騨山脈の深成岩マグマの貫入時期とテクトニクス」

(一財)電力中央研究所 研究員 伊藤 久敏 氏

「呉羽山断層と神通川の営みとその地形」

国立大学法人富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏